

○教育目標

知：考えを深める子

徳：よさを認め合う子

体：心と体をきたえる子



←ホームページも
ぜひご覧ください。

いわき市立中央台南小学校長 高野 智則

南小だより

高学年ならではの活動

6年生は「市陸上競技大会」、5年生は「宿泊活動」と、大きな行事を無事に終えることができました。保護者の皆様の励ましやご準備等のご協力に、感謝いたします。

下級生にとってあこがれの高学年。自分も5年生になったら、6年生になったらと、高学年の姿を見て自分の姿を想像するものです。高学年でしか成しえない、行事とも言えます。

6年生は、自分がエントリーする種目に、記録の目標をもって練習に取り組みました。目標達成の可否に関わらず、目標に向かって懸命に努力（＝『我慢すること』と子ども達には伝えていますが、大きな経験であり学びでもあります。



【5年生 ボディボード体験】

5年生は、「協力」「友情」「努力（責任を果たす）」の3つを無くしては、班でまとまって活動を成し遂げたり全体に迷惑をかけないように考えて生活したりすることはできません。仲間と宿泊するといった貴重な経験となりました。

このような経験を通して、子ども達は自立した中学生へ成長していくのだと思います。友達を思いやり、自分に厳しく、そんな子ども達になってほしいと切に願います。

※ 6学年の保護者ボランティアの方々に、陸上大会当日のお手伝いをいただきました。大変助かりました。どうもありがとうございました。

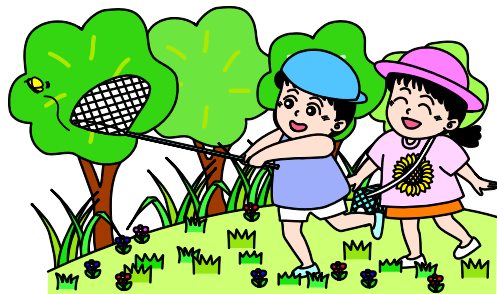
まもなく1学期が終了です



教育相談へご来校いただきまして、ありがとうございました。お子さんの学校での様子から、良い点やこれから伸ばしていきたい点が伝えられたかと思います。

さて、7月18日（金）が第1学期の終業式になります。今年度より、通知票は前期・後期の2期制としましたので、7月18日は通知票はお渡ししませんのでご承知おきください。前期の通知票は、10月1日にお渡しいたします。

今年度の夏休みは、37日間あります。夏休みは、これまでもお伝えしましたとおり、学力向上ば



かりとられることなく子ども達の特技や趣味嗜好を伸ばし、自分に目標や自信を持つ体験・経験を重視していただきたいと思います。また、普段関わりのない集団での活動を通して、一番大切な「コミュニケーション力」が培われます。いろいろなイベントに参加することも、貴重な体験になると思います。

2学期には、ひと回り大きくなった子ども達に会えるのを楽しみにしています。

【校長室より「越えてはいけない一線」】

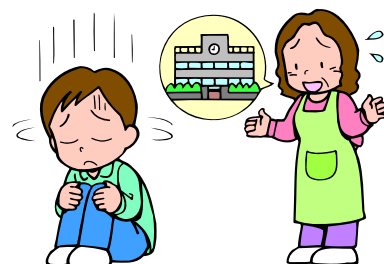
前は、「AI が文明を滅ぼす」かもしれない？ ことをお伝えしました。確かに、文明の発達生活の便利さ・豊かさを与えてくれます。しかし、「越えてはいけない一線（くぎり）」があるのではないかと考えます。つまり、子どもにできるけどやらせてはいけないこと、越えてはいけないことがあるのではないのでしょうか。特に、子どもの携帯電話やゲーム機等のネット利用では、強く感じます。

6月に、本校児童を対象に「ネット・SNS 利用調査」を行いました。「ネット、SNS（「ライン」、メール、チャット、ゲーム内のチャットなど）を利用していますか。」の質問に、66.3%（市平均 87.2%）の児童が「はい」と答えています。また「何に利用しているか？」の質問には、①動画を見る 87.3%（市 88.2%）、②検索する 83.9%（市 56.3%）、③ゲームをする 78.8%（72.5%）でした。さらに「利用にあたってお家の人とルールを決めているか」の質問に、「はい」と答えたのは 78.0%（市 80.3%）。心配な事項としては、「悪口やいやがらせのメッセージやメールを送られたり書き込みをされたことがある」の質問には 10.2%（市 4.3%）、「インターネットで知り合った人とメッセージやメールのやりとりをしたことがある」には 9.3%（市 6.4%）の児童が「はい」と回答しています。

子どものネット依存や利用が、子どもの健全な成長に支障を来していることは、皆さんご承知のことと思います。ヨーロッパでは、スマホが学校の成績の低下につながることで、見ている時間が長いと子どもたちのメンタルに悪い影響を及ぼすとして、国策の規制が進んでいます。

昔話の浦島太郎に、「開けてはいけない玉手箱」の話があります。しかし浦島太郎は、その一線を越えて、老いてしまいました。鶴の恩返し「見てはいけない」では、一線を越えて覗いてしまい、今の幸せが一変してしまう話があります。一線を越えてはいけない戒めを、伝えているかのようにも感じます。

子ども達の健全な発育には、「できるけど、やらせてはいけない『一線』」が、あるのではないかと考えさせられます。



WBGT（暑さ指数）への対応について

今年も、暑い夏が続いています。本校では、子ども達を熱中症から守ることを最優先に考え、環境省の指針のもと WBGT が 31 度を超えた場合は、「運動は原則中止（プール学習含）」としています。WBGT の把握については、

①養護教諭が環境省公表によるその日の予想値を職員室内に表示、②予想値に応じて担任が運動場の WBGT を測定して判断、という 2 段階の対応を踏んでいます。これは昨年度と同様の対応になります。夏休み以降の 2 学期も、しばらくはこの異常な暑さは続くものと思われます。体育科学習や大休憩時は、児童の運動量を最大限確保するように努めますが、場合によっては、運動を中止させることもありますことご理解ください。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上35℃未満	28以上31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上31℃未満	25以上28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上28℃未満	21以上25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

また、紫外線も以前より強くなっています。登下校時に、日傘を使用することもよいと思います。その他暑さ対策等で心配なことがありましたら、担任を通して教頭へご相談ください。

南小のホームページ

今年も毎日更新を目指し、本校の教育活動の取り組みや教育環境を紹介・発信しています。ぜひ、ご覧ください。（題字左のQRコードよりご覧いただけます。）